

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	市立札幌みなみの杜高等支援学校 第2学年 40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（保健体育、総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・東京オリンピック開催や札幌での冬季オリンピック誘致活動の意義についてオリンピックミュージアム見学を通して理解することができる。 ・保健体育で扱っている種目とオリンピック種目との関連性を知ること、日々の保健体育への意欲喚起や、生涯スポーツへの興味・関心をもつことができる。
5 取組内容	○指導計画【5時間扱い】 ・保健体育（1時間） オリンピック・パラリンピックについての学習（事前学習） ・総合的な学習の時間（4時間） 札幌オリンピックミュージアムを訪問、見学 学習成果のまとめと振り返り（事後学習） ○取組の様子 《パラリンピアンによる講演》 ・伴走者のガイドスピーカーの音（右、左、登り、下り）を頼りに 走ること、海外を転戦するときに 米と炊飯器を持参して、おにぎり パーティをするなど、食事が大事 という話が印象に残った。 ・オリンピック、パラリンピアン の選手のたくさんの苦労を知ること ができた。テレビで観て応援した い。 ・障がいがあっても同じユニフォー ムを着てオリンピックに出られる ことを学んだ。



	《学芸員さんの館内説明》 ・選手との逸話やエピソードを聞き、テレビで観戦している選手をもっと応援したくなった。 ・挨拶ができていないと応援したいと思わないことから、どの世界でも挨拶が必要なんだなと感じた。  《館内フリータイム》 ・施設利用時のマナーを守れることを意識しながら、グループの仲間とともに、様々な体験活動を楽しむことができた。  《ジャンプ台解説》 ・リフトに乗って大倉山ジャンプ台の頂上まで行き、頂上ではスキージャンプの説明を聞いた。札幌の街を一望できる景色をみて、ますます札幌が好きになった。 ・札幌の景色はきれいで、外国人観光客が来る理由が分かった。 
6 主な成果	・『本物に触れる』ことでより深い学びにつなげることができた。 ・「平和を取り戻すためにオリンピックがあることに感動した」という生徒の気付きから、オリンピックの学びを通して平和に想いを寄せ、平和な社会を築く一員であることを学ぶことができた。 ・冬季オリンピックが開催されたこと、オリンピック関連施設が真駒内エリアにたくさんあることなど身近に感じる機会にできた。
7 実践において工夫した点	本校の保健体育の取組がオリンピック・パラリンピックの競技（種目）とつながりを生徒が学べるような学習活動を組んだこと。
8 主な課題等	オリパラ教育推進事業の実践テーマと、学年進行に応じた学習テーマの設定を上手くリンクさせつつ、効果的な学習活動を展開すること。
9 今後の取組について	本校の保健体育は、オリパラ教育推進校としてオリパラ競技（種目）を学習に取り入れている。競技（種目）の理解を深めるとともに、他者理解（相手を思いやり、ともに活動するという意識、スポーツをするチームメイトとしての仲間意識）につなげることもねらいとしている。今後もこの実践を積み重ね、生徒の多くの気付き、変化、成長を目指していく。